



学校だより



墨田区立第三吾嬬小学校

校長 川中子登志雄

令和4年10月1日

10月号

「将来の夢は何ですか？」

副校長 手山 晃洋

将来の夢

「将来の夢は何ですか？」幼い頃、何度か聞かれたことのある質問だと思います。私はというと、幼稚園の頃は「パイロット」でしたが、いつの間にか「学校の先生」となっていました。「あなたは、どうして学校の先生になりたいと思ったのですか？」まだ、大学生のころ、教員になる際の面接では、そのような質問に何と答えれば良いのか、自問自答した記憶があります。

(今でも、その質問に自信をもって答えられないかもしれませんが・・・)



誰かの役に立ちたい

毎年、様々な団体・企業が「子供たちのなりたい職業」等のランキング調査を行っています。その結果は、時代と共に変容していき、最近では、「Youtuber」「動画クリエイター」「IT エンジニア/プログラマー」という職業も上位に入っています。(「教師/教員」もベスト 10 入りしていたので小さなガッツポーズをしてみました。)興味深いのは、年齢が上がるにつれて「選んだ職業になりたい理由」を「誰かの役に立ちたい」と回答する割合が増えていくことです。「誰かの役に立ちたい」という思いは、正にキャリア教育が目指すものです。

キャリア教育が目指すもの

キャリア教育が目指すのは、子供たちが、将来、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくというもので、「人間関係形成・社会形成能力」「課題対応能力」「自己理解・自己管理能力」「キャリアプラン能力」から成ります。学校においては、各教科の授業、特別活動(委員会、クラブ、行事等)全てを通じて、キャリア教育に取り組んでいます。

キャリア教育特別授業

その一環として、今年度も、保護者・地域等の皆様をゲストティーチャーに迎え、10月15日(土)に5・6年生を対象に、キャリア教育特別授業を行います。毎年、子供たちからも好評です。日常の中で、子供たちが働く人の話を聞いたり、体験したりする機会は、実はそれほどありません。この取組を通じて「働くこと」「誰かの役に立つこと」の喜びを知ることができればと、願っています。

キャリア・パスポート

昨年から新たに始めた取組として、キャリア・パスポートもあり、全学年で年間5回程度、作成しています。子供たちは、このキャリア・パスポートの作成を通じて、年度の最初と最後や、学校行事の前後等の節目で、自分の「見通し」と「振り返り」を繰り返します。ご家庭へも持ち帰り「保護者の方からの一言」を書きいただいています。高等学校卒業まで、継続して行うものとなります。

主体性のスイッチ

前期も残すところあとわずかとなり、10月11日からは後期のスタートです。キャリア・パスポートや成績表を通じて、子供たちの頑張りを十分に褒め、認めてあげてください。そのことが「後期も頑張ろう！」という主体性のスイッチとなります。

〈お知らせ〉

体育の授業での服装について

10月に入ると、体育学習発表会の練習が熱を帯びるようになり、子供たちも汗をかく日が多くなります。練習の日も普段より増えると考え、体育着の衛生面に配慮が必要になってきます。そこで、体育学習発表会の練習期間中は、体育着の他に着替え（白のTシャツ（ワンポイント有り））をご用意ください。柄などについて判断しかねる場合は、担任までご連絡いただければと思います。その他、タオルや水筒（スポーツドリンク可）なども、適宜ご用意いただければと思います。特に水筒に関しては、熱中症予防の観点から必ずご用意いただきますよう、よろしくお願いいたします。

〈学年の様子〉

1年生「前期を振り返って」

1年生が入学してから、半年が過ぎようとしています。ひらがなの学習、たし算とひき算、給食、掃除、日直や係の仕事など、どんな事にも目を輝かせて、やる気いっぱいに取り組んできました。給食を上手に配ったり、ごみを残さないようにきれいに掃除したりと、自分の力でできるようになったことが、たくさんあります。

今、後期の体育学習発表会に向けて、表現「フレンズビート」の練習に取り組んでいます。曲に合わせて振り付けを覚え、楽しみながら練習しています。のびのびと、元気に踊る姿をお見せできるように頑張っています。

一年担任



初めての給食



学校たんけん



練習風景

〈三吾ニュース〉

縄文・弥生時代へタイムスリップ

西門をくぐると三吾ビオトープがあります。縄文・弥生時代に使われていた道具が並んでいます。三吾小の新たな見所になります。来校された際には、ぜひご覧ください。

